



平成 24 年 11 月 13 日

各 位

会 社 名 株式会社ジー・テイスト
 代表者名 代表取締役社長 稲吉 史泰
 (JASDAQ・コード番号 2694)
 問合せ先 執行役員管理本部長 岩崎 友也
 TEL: 022-762-8540

(訂正) 「平成 23 年 3 月期 第 3 四半期決算短信 (非連結)」の一部訂正について

当社は平成24年10月22日付で「過年度決算の訂正についてのお知らせ」においてお知らせいたしましたとおり、当社の関連会社でありました株式会社グローバルアクトの株式を取得した際の会計処理を含む平成22年3月期会計処理に関して、同日開催の当社取締役会において調査チームの調査結果の報告を受け、平成22年3月期 第1四半期より現在までの決算の訂正をすることを決定しておりました。

この決定に基づき、当社では、これまでに調査結果の細部に対する検証・検討、過年度決算の訂正作業及び会計監査等を並行して進めてまいりました。この度、これらの作業を経て具体的な訂正内容が確定いたしましたので、平成23年2月10日付「平成23年3月期 第3四半期決算短信 (非連結)」について下記のとおり一部訂正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 訂正理由

当社の関連会社でありました株式会社グローバルアクトの株式を取得した際の会計処理を含む平成22年3月期会計処理を修正したため。

2. 訂正箇所

訂正箇所には下線 を付して表示しております。

【サマリー情報】

(訂正前)

1. 平成 23 年 3 月期第 3 四半期の業績 (平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 12 月 31 日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23 年 3 月期第 3 四半期	13,358	12.9	<u>△85</u>	—	<u>6</u>	<u>△98.4</u>	<u>△888</u>	—
22 年 3 月期第 3 四半期	11,827	14.9	<u>287</u>	<u>△41.9</u>	<u>417</u>	<u>△35.3</u>	<u>△22</u>	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	<u>△15.18</u>	—
22年3月期第3四半期	<u>△0.52</u>	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	<u>13,694</u>	<u>5,850</u>	<u>42.7</u>	<u>88.91</u>
22年3月期	<u>13,042</u>	<u>6,345</u>	<u>48.7</u>	<u>119.49</u>

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 5,849百万円 22年3月期 6,345百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	1.50	1.50
23年3月期	—	0.00	—		
23年3月期 (予想)				1.50	1.50

(注) 当四半期における配当予想の修正有無：無

3. 平成23年3月期の業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,662	10.6	<u>△77</u>	—	73	<u>△81.6</u>	<u>△980</u>	—	<u>△16.25</u>

(注) 当四半期における業績予想の修正有無：有

(訂正後)

1. 平成23年3月期第3四半期の業績（平成22年4月1日～平成22年12月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	13,358	12.9	<u>△10</u>	—	82	<u>△82.1</u>	<u>△813</u>	—
22年3月期第3四半期	11,827	14.9	<u>329</u>	<u>△33.5</u>	<u>459</u>	<u>△28.8</u>	<u>△952</u>	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	<u>△13.89</u>	—
22年3月期第3四半期	<u>△22.47</u>	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	<u>12,864</u>	<u>5,021</u>	<u>39.0</u>	<u>76.30</u>
22年3月期	<u>12,136</u>	<u>5,440</u>	<u>44.8</u>	<u>102.45</u>

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 5,020百万円 22年3月期 5,440百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	1.50	1.50
23年3月期	—	0.00	—		
23年3月期 (予想)				1.50	1.50

(注) 当四半期における配当予想の修正有無：無

3. 平成23年3月期の業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,662	10.6	<u>△77</u>	—	73	<u>△84.2</u>	<u>△980</u>	—	<u>△16.25</u>

(注) 当四半期における業績予想の修正有無：有

【2ページ】

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(訂正前)

(1) 経営成績に関する定性的情報

(前略)

以上の結果、当第3四半期累計期間末の直営店舗・校舎数は281店舗、FC店舗数は327店舗となり、当第3四半期累計期間におきましては、売上高133億58百万円（前年同四半期比12.9%増）、営業損失85百万円（前年同四半期は2億87百万円の営業利益）、経常利益6百万円（前年同四半期比98.4%減）となりましたが、資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額等特別損失4億72百万円、法人税等調整額3億92百万円の計上により、四半期純損失は8億88百万円（前年同四半期は22百万円の四半期純損失）となりました。

また、セグメント業績は、次のとおりであります。

寿司事業においては、FC店舗3店舗を海外出店した一方で、FC店舗4店舗の撤退により、当第3四半期累計期間末の直営店舗数は86店舗、FC店舗数は26店舗となりました。また、お客様の来店動機を高める目的で季節毎に「逸品紀行」「厳選 旨味祭」「秋の旬鮮市」「冬の旨味祭」等の期間限定フェア等を開催したほか、グランドメニューの変更により、旬の食材をお客様に提供することにより、来店客数の増加傾向が回復した結果、売上高45億80百万円、営業利益1億41百万円となりました。

居酒屋等事業においては、フード インクルーヴ株式会社との合併に伴い12店舗、FC加盟店203店舗増加したほか、4店舗を新規出店しました。一方、不採算店舗13店舗を閉店、さらに6店舗で業態を変更し、当第3四半期累計期間末の直営店舗数は154店舗、FC店舗は301店舗となりました。また、主要業態である「とりあえず吾平」「ちゃんこ江戸沢」「村さ来」のグランドメニューを見直し、各種フェアを開催した結果、売上高83億18百万円、営業利益3億60百万円となりました。

教育事業においては、FC加盟店より2校舎譲受け、また英会話事業のジオス校舎を6校舎譲受け、そのうち5校舎をNOVA×GEOSとしてリニューアルし、1校舎をNOVAに併合した結果、当第3四半期累計期間末の教育事業直営校舎は41校舎となり、NOVA復活3周年記念キャンペーン及びイベントの実施により、売上高4億59百万円、営業利益64百万円となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期累計期間末の総資産額は、前事業年度末に比べて6億52百万円増加し、136億94百万円となりました。主な要因は、フード インクルーヴ株式会社との合併による受取手形及び売掛金の増加1億20百万円、固定資産の増加6億36百万円によるものであります。

負債総額は、前事業年度末に比べて11億46百万円増加し、78億43百万円となりました。主な要因は、資産除去債務の増加6億23百万円、短期借入金及び長期借入金の増加2億61百万円、預り保証金の増加2億36百万円によるものであります。

純資産は、58億50百万円となり、前事業年度末より4億94百万円減少しております。主な要因は、四半期純損失8億88百万円の計上、新株予約権付社債の転換による資本金3億60百万円の増加及び資本剰余金3億60百万円の増加によるものであります。

(訂正後)

(1) 経営成績に関する定性的情報

(前略)

以上の結果、当第3四半期累計期間末の直営店舗・校舎数は281店舗、FC店舗数は327店舗となり、当第3四半期累計期間におきましては、売上高133億58百万円（前年同四半期比12.9%増）、営業損失10百万円（前年同四半期は3億29百万円の営業利益）、経常利益82百万円（前年同四半期比82.1%減）となりましたが、資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額等特別損失4億72百万円、法人税等調整額3億92百万円の計上により、四半期純損失は8億13百万円（前年同四半期は9億52百万円の四半期純損失）となりました。

また、セグメント業績は、次のとおりであります。

寿司事業においては、FC店舗3店舗を海外出店した一方で、FC店舗4店舗の撤退により、当第3四半期累計期間末の直営店舗数は86店舗、FC店舗数は26店舗となりました。また、お客様の来店動機を高める目的で季節毎に「逸品紀行」「厳選 旨味祭」「秋の旬鮮市」「冬の旨味祭」等の期間限定フェア等を開催したほか、グランドメニューの変更により、旬の食材をお客様に提供することにより、来店客数の増加傾向が回復した結果、売上高45億80百万円、営業利益1億41百万円となりました。

居酒屋等事業においては、フード インクルーヴ株式会社との合併に伴い12店舗、FC加盟店203店舗増加したほか、4店舗を新規出店しました。一方、不採算店舗13店舗を閉店、さらに6店舗で業態を変更し、当第3四半期累計期間末の直営店舗数は154店舗、FC店舗は301店舗となりました。また、主要業態である「とりあえず吾平」「ちゃんこ江戸沢」「村さ来」のグランドメニューを見直し、各種フェアを開催した結果、売上高83億18百万円、営業利益4億36百万円となりました。

教育事業においては、FC加盟店より2校舎譲受け、また英会話事業のジオス校舎を6校舎譲受け、そのうち5校舎をNOVA×GEOSとしてリニューアルし、1校舎をNOVAに併合した結果、当第3四半期累計期間末の教育事業直営校舎は41校舎となり、NOVA復活3周年記念キャンペーン及びイベントの実施により、売上高4億59百万円、営業利益64百万円となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期累計期間末の総資産額は、前事業年度末に比べて7億27百万円増加し、128億64百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加3億51百万円、フードインクルーヴ株式会社との合併による受取手形及び売掛金の増加88百万円、固定資産の増加1億45百万円によるものであります。

負債総額は、前事業年度末に比べて11億46百万円増加し、78億43百万円となりました。主な要因は、資産除去債務の増加6億23百万円、短期借入金及び長期借入金の増加2億61百万円、預り保証金の増加2億36百万円によるものであります。

純資産は、50億21百万円となり、前事業年度末より4億18百万円減少しております。主な要因は、四半期純損失8億13百万円の計上、新株予約権付社債の転換による資本金3億60百万円の増加及び資本剰余金3億60百万円の増加によるものであります。

【4 ページ】

3. 四半期財務諸表

(訂正前)

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	628,827	276,844
受取手形及び売掛金	224,483	135,860
商品	21,941	29,244
原材料及び貯蔵品	167,412	140,088
その他	648,026	522,262
貸倒引当金	△6,152	△1,690
流動資産合計	<u>1,684,539</u>	<u>1,102,610</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	3,179,937	2,785,379
土地	1,909,965	1,926,772
その他（純額）	431,834	413,274
有形固定資産合計	<u>5,521,737</u>	<u>5,125,426</u>
無形固定資産		
のれん	1,598,699	1,749,027
その他	69,990	42,830
無形固定資産合計	<u>1,668,689</u>	<u>1,791,858</u>
投資その他の資産		
敷金及び保証金	3,868,410	3,812,959
その他	1,124,621	1,222,098
貸倒引当金	△173,770	△12,908
投資その他の資産合計	<u>4,819,262</u>	<u>5,022,150</u>
固定資産合計	<u>12,009,689</u>	<u>11,939,434</u>
資産合計	<u>13,694,228</u>	<u>13,042,044</u>
負債の部		
流動負債		
買掛金	575,581	504,385
短期借入金	1,976,303	2,141,611
未払法人税等	47,230	73,486
引当金	90,688	18,029
資産除去債務	5,219	—
その他	1,239,926	1,047,157
流動負債合計	<u>3,934,949</u>	<u>3,784,670</u>

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
固定負債		
社債	75,000	105,000
新株予約権付社債	545,000	895,000
長期借入金	1,642,273	1,215,250
退職給付引当金	76,990	85,158
債務保証損失引当金	5,132	12,824
資産除去債務	618,674	—
その他	945,212	599,007
固定負債合計	<u>3,908,281</u>	<u>2,912,239</u>
負債合計	<u>7,843,231</u>	<u>6,696,910</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,634,628	1,274,628
資本剰余金	2,525,049	2,165,049
利益剰余金	<u>1,690,240</u>	<u>2,905,686</u>
自己株式	△63	△58
株主資本合計	<u>5,849,854</u>	<u>6,345,306</u>
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	7	△171
評価・換算差額等合計	<u>7</u>	<u>△171</u>
新株予約権	1,135	—
純資産合計	<u>5,850,997</u>	<u>6,345,134</u>
負債純資産合計	<u>13,694,228</u>	<u>13,042,044</u>

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	11,827,272	13,358,563
売上原価	4,124,010	4,689,104
売上総利益	7,703,262	8,669,458
販売費及び一般管理費	7,416,041	8,755,149
営業利益又は営業損失(△)	287,221	△85,691
営業外収益		
受取利息	9,306	6,705
受取配当金	66	716
不動産賃貸料	145,682	240,161
受取手数料	130,929	119,045
雑収入	36,214	49,853
営業外収益合計	322,199	416,482
営業外費用		
支払利息	64,022	77,700
不動産賃貸原価	85,859	179,541
雑損失	42,349	66,865
営業外費用合計	192,230	324,106
経常利益	417,190	6,683
特別利益		
固定資産売却益	—	7,700
貸倒引当金戻入額	7,794	20,437
投資有価証券売却益	—	2,925
店舗閉鎖損失引当金戻入額	5,344	3,833
債務保証損失引当金戻入額	9,720	7,692
特別利益合計	22,858	42,589
特別損失		
固定資産売却損	—	12,038
投資有価証券売却損	—	3,390
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	335,939
固定資産除却損	2,500	1,149
店舗閉鎖損失引当金繰入額	29,922	83,116
減損損失	4,753	35,812
店舗閉鎖損失	47,205	630
抱合せ株式消滅差損	313,934	—
特別損失合計	398,316	472,076
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	41,732	△422,803
法人税、住民税及び事業税	58,016	73,185
法人税等調整額	5,784	392,960
法人税等合計	63,801	466,145
四半期純損失(△)	△22,068	△888,949

(訂正後)

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	628,827	276,844
受取手形及び売掛金	224,483	135,860
商品	21,941	29,244
原材料及び貯蔵品	167,412	140,088
その他	648,026	522,262
貸倒引当金	△6,152	△1,690
流動資産合計	1,684,539	1,102,610
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,179,937	2,785,379
土地	1,909,965	1,926,772
その他(純額)	431,834	413,274
有形固定資産合計	5,521,737	5,125,426
無形固定資産		
のれん	769,035	843,939
その他	69,990	42,830
無形固定資産合計	839,026	886,770
投資その他の資産		
敷金及び保証金	3,868,410	3,812,959
その他	1,124,621	1,222,098
貸倒引当金	△173,770	△12,908
投資その他の資産合計	4,819,262	5,022,150
固定資産合計	11,180,025	11,034,346
資産合計	12,864,565	12,136,956
負債の部		
流動負債		
買掛金	575,581	504,385
短期借入金	1,976,303	2,141,611
未払法人税等	47,230	73,486
引当金	90,688	18,029
資産除去債務	5,219	—
その他	1,239,926	1,047,157
流動負債合計	3,934,949	3,784,670
固定負債		
社債	75,000	105,000
新株予約権付社債	545,000	895,000
長期借入金	1,642,273	1,215,250
退職給付引当金	76,990	85,158
債務保証損失引当金	5,132	12,824
資産除去債務	618,674	—
その他	945,212	599,007
固定負債合計	3,908,281	2,912,239
負債合計	7,843,231	6,696,910

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,634,628	1,274,628
資本剰余金	2,525,049	2,165,049
利益剰余金	860,576	2,000,598
自己株式	△63	△58
株主資本合計	<u>5,020,190</u>	<u>5,440,218</u>
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	7	△171
評価・換算差額等合計	<u>7</u>	<u>△171</u>
新株予約権	1,135	—
純資産合計	<u>5,021,334</u>	<u>5,440,046</u>
負債純資産合計	<u>12,864,565</u>	<u>12,136,956</u>

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	11,827,272	13,358,563
売上原価	4,124,010	4,689,104
売上総利益	7,703,262	8,669,458
販売費及び一般管理費	7,374,139	8,679,725
営業利益又は営業損失(△)	329,123	△10,267
営業外収益		
受取利息	9,306	6,705
受取配当金	66	716
不動産賃貸料	145,682	240,161
受取手数料	130,929	119,045
雑収入	36,214	49,853
営業外収益合計	322,199	416,482
営業外費用		
支払利息	64,022	77,700
不動産賃貸原価	85,859	179,541
雑損失	42,349	66,865
営業外費用合計	192,230	324,106
経常利益	459,092	82,107
特別利益		
固定資産売却益	—	7,700
貸倒引当金戻入額	7,794	20,437
投資有価証券売却益	—	2,925
店舗閉鎖損失引当金戻入額	5,344	3,833
債務保証損失引当金戻入額	9,720	7,692
特別利益合計	22,858	42,589
特別損失		
固定資産売却損	—	12,038
投資有価証券売却損	—	3,390
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	335,939
固定資産除却損	2,500	1,149
店舗閉鎖損失引当金繰入額	29,922	83,116
減損損失	4,753	35,812
店舗閉鎖損失	47,205	630
抱合せ株式消滅差損	1,286,065	—
特別損失合計	1,370,447	472,076
税引前四半期純損失(△)	△888,496	△347,379
法人税、住民税及び事業税	58,016	73,185
法人税等調整額	5,784	392,960
法人税等合計	63,801	466,145
四半期純損失(△)	△952,298	△813,525

【7 ページ】

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

(訂正前)

当社は、平成 22 年 7 月 1 日にフード インクルーヴ株式会社と合併いたしましたので、当第 3 四半期累計期間において利益剰余金が 246,846 千円減少しております。また、新株予約権の権利行使により、当第 3 四半期累計期間において資本金及び資本剰余金がそれぞれ 360,000 千円増加しております。

この結果、当第 3 四半期会計期間末において、資本金が 1,634,628 千円、資本剰余金が 2,525,049 千円、利益剰余金が 1,690,240 千円となっております。

(訂正後)

当社は、平成 22 年 7 月 1 日にフード インクルーヴ株式会社と合併いたしましたので、当第 3 四半期累計期間において利益剰余金が 246,846 千円減少しております。また、新株予約権の権利行使により、当第 3 四半期累計期間において資本金及び資本剰余金がそれぞれ 360,000 千円増加しております。

この結果、当第 3 四半期会計期間末において、資本金が 1,634,628 千円、資本剰余金が 2,525,049 千円、利益剰余金が 860,576 千円となっております。

以 上